東北大学大学院薬学研究科
女性薬学研究者育成チーム活動報告

POLISH letter

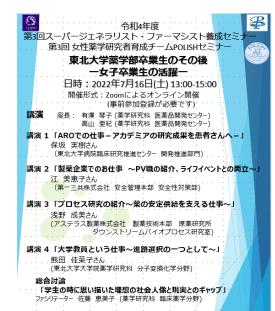


No.7, 2022

第3回スーパージェネラリスト・ファーマシスト養成セミナー、第3回 女性薬学研究者育成チームPOLISHセミナー

2022年7月16日(土)に東北大学薬学部卒業生のその後一女子卒業生の活躍一をテーマに、薬学科(臨床薬学分野)卒業生の保坂実樹さん(東北大学病院臨床研究推進センター 開発推進部門)、江美恵子さん(第一三共株式会社 安全管理本部安全性対策部)、創薬科学科(分子変換化学分野所属)卒業生の浅野成美さん(アステラス製薬株式会社 製薬技術本部 原薬研究所 ダウンストリームバイオプロセス研究室)、熊田佳菜子先生(東北大学大学院薬学研究科 分子変換化学分野)を講師にお招きし、オンラインにてセミナーを開催しました。休日にも関わらず、薬学部・薬学研究科の女子学生を中心に40名を超える参加がありました。講師の方々からは、それぞれの職務内容について具体的にお話しいただき、それぞれの職場の福利厚生や育児と仕事の両立についてもお話しいただきました。また、博士課程や社会人博士課程に進み学位を取得した際のお話しもしていただきました。

ご参加いただいた皆さんには、薬学部を卒業した後の進路について具体的なイメージを持つことができたのではないでしょうか?皆さんからご回答いただいたアンケート結果をまとめました。今後も同様のセミナーを開催いたしますので、ぜひご参加ください。





開催後の参加者アンケートでは、参加者の非常に高い満足度が示されました。回答の一部をご紹介いたします。

- Q. このセミナーのどのような点が役に立ちましたか?
- A. 女性研究者としての多様な働き方を 教えてくださった点。仕事の具体的 な内容を紹介してくださった点。
- A. 薬学部を卒業した先輩方がどのような 場所で実際に活躍しているのかを知る ことができた点。
- A. 女性だから、と変に意識しなくてもい いとわかった点。
- A. 社会人博士で博士号を取得するのはや はり険しい道であると再認識できた点。
- Q. 博士課程への進学に興味を持ちましたか?
- A. 3割以上の学生が大学院博士課程 進学に興味を持っていた。
- Q. 今後はどのようなセミナーの開催を 希望しますか?
- A. 昨年や一昨年くらいに卒業した方 から就活の話を聞きたい。

POLISHでは今後も薬学所属学生が関心のあるテーマについて、多彩なセミナーの開催を予定しております。 皆様のご参加をお待ちいたしております。

POLISHの活動について、皆 さんからのご意見・ご要望・ ご感想などをぜひお寄せくだ さい

発行・編集:東北大学大学院薬学研究科 女性薬学研究者育成チーム POLISH

polish@mail.pharm.tohoku.ac.jp (事務局 佐藤由紀)